

子ども虐待対応医師のための
子ども虐待対応・医学診断ガイド

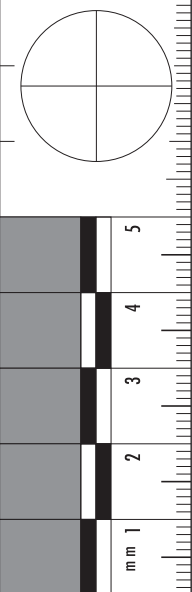
P o c k e t M a n u a l



Careful Consideration

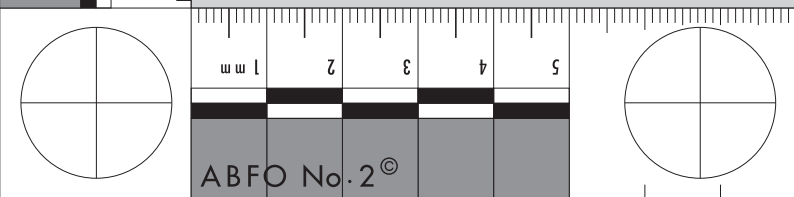
目次

I. 総論	はじめに	2
	虐待初期対応の流れ	3
	入院判断	4
	心構え	5
	急性期の、子ども・親との面談	6
	医療機関における虐待通告の意義	7
	加害親への虐待告知	8
	警察との連携	9
	カルテ記載の原則	10
	外傷の記載法	11
	虐待疑い症例への身体診察	12
	診療録参考例	13
	乳幼児虐待リスクアセスメント指標	16
	医療意見書・損傷診断書への記入等	18
II. 各論	身体的虐待総論	19
	挫傷	20
	熱傷	22
	骨折	24
	頭部損傷・腹部損傷・眼損傷	26
	乳幼児揺さぶられ症候群 (SBS/AHT)	27
	咬傷・口腔外傷	30
	ネグレクト: 総論	31
	Failure to thrive: FTT, 成長障害	32
	成長曲線・肥満度判定曲線	33
	心理的虐待	36
	DVについて	37
	MSBP	38
	毒物による虐待	39
	CPA-OA 症例について	40
	SIDS	41
	性虐待	42
	医療ネグレクト	46
	虐待対応に関連した法律	47
	必携図書	48



ABFO N02 scaleとして臨床利用する場合、
1mm厚のプラスチック板で背面を補強すること。

Designed by the American Board of Forensic Odontology



編集／制作

厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

「子どもの心の診療に関する診療体制確保、専門的人材育成に関する研究」分担研究
虐待対応連携における医療機関の役割（予防、医学的アセスメントなど）に関する研究

主任研究者 奥山眞紀子／分担研究者 山田不二子／研究協力者 溝口史剛

マニュアル制作協力者 舟橋敬一・内山健太郎

発行

北海道保健福祉部子ども未来推進局

損傷測定・記録撮影用L型定規

裏面の定規部分を切り取ることで、損傷計測・記録撮影時用のツールとして利用することができる。

写真撮影の場合、皮膚損傷面に対し、直角の角度から撮影することが重要であるが、L型定規の場合、画像のゆがみを確認することができる(ゆがんでいても、画像上で対象物の計測ができる)

直接治療に関係しない損傷の画像撮影は、診療上おろそかにしがちであるが、虐待診療の際には、子どもを守るために極めて重要である。



To Our
Children's
Children's
Children.

